

熊本市水俣市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	104,692,617	64,660,000	169,352,617	82.8%	荒廃森林の再造林及び保育森林のための森林整備及び種苗生産者への活動に対して支援する。
譲与額（円）	150,482,000	54,131,000	204,613,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
意向調査	経営管理権集積計画 意向調査	2,871,234	2,871,234	水俣市袋地区の11筆、2.87haの経営管理権集積計画、及び、水俣市石坂川地区349筆、263.04haの意向調査を実施した。
森林整備	私有林整備	53,978,000	53,978,000	森林環境保全整備事業として、経営管理集積計画を策定した袋地区の間伐、及びシカ被害による3地区の再造林を実施した。
担い手確保	良質な苗木の安定供給	4,936,000	4,936,000	良質なコンテナ苗等の供給安定や、林業の担い手確保・育成を目的とし、市が主導し森林整備の効率化を図った。
木材利用	市産材利活用促進事業	1,016,000	1,016,000	市産材を利用した住宅及び店舗を建築する市民に対して、延床面積1㎡当たり6,000円を支援した結果、3件分の材積約34㎡を利用した。
基金積立		1,858,766	1,858,766	水俣市森林環境譲与税積立基金
合計		64,660,000	64,660,000	

■今後の実施計画

- 意向調査実施率が約3割しか完了していないことから、市内全域が早期完了できるよう推進していく。
- 新たに地域経営管理集約化構想を策定し、経営管理集積計画やあっせん等による林業事業体による経営管理を進めていくとともに、保育間伐等の森林整備を実施していく。
- シカ被害による荒廃森林に対して改植等による再造林を実施していく。
- 市産材利活用事業による住宅建設を推進することにより、移住定住の促進を図っていく。

●水俣地域造林支援事業（水俣地域森林管理システム推進協議会）

- ①シカ被害による再造林
シカ被害による荒廃森林で早急に再造林しなければならない森林
- ②保育支援
本制度で再造林を実施した森林で下刈・間伐の支援
- ③苗木生産拡大
種苗を生産している市内事業体への支援
- ④機能回復支援
本事業で実施する作業道の開設・維持管理の支援
- ⑤地域経営管理集約化構想の策定
意向調査結果を踏まえて、林業事業体への現地調査委託
※林業事業体が調査することにより、あっせん等の協定が可能